

## まち運営会議(第135回)議事録(概要)

令和5年4月27日 18:30～20:40

自由が丘エヌケビル3F

議長 卯月盛夫

### 議題

1. 情報提供: 自由が丘 1-29 再開発に伴うカトレア通り植栽計画の中間報告  
卯月議長
2. 話し合い: 自由が丘周辺の歩行者・自転車の交通事故ゼロに向けての対策  
——歩行環境がある程度整備される前に実施したいこと  
まち構造研究会
3. その他

### 資料

1. カトレア通り 検討案\*
  2. 歩道の作り方の課題(スライドのみ)\*
  3. 歩行者・自転車の交通事故 現状と交通ルール\*
  4. 自由が丘の駐輪 現状と課題(スライドのみ)\*
  5. スイーツフェスタのちらし
- (\*の資料は議事録概要とともに、まち運営会議のホームページに掲載します。)

- こんばんは。岡田代表は用事ができて欠席の通知がありました。今日もよろしくお願いいたします。
- 議長 第135回の自由が丘のまち運営会議を始めます。次第にしたがって進めます。

#### 1. 自由が丘 1-29 再開発に伴うカトレア通り植栽計画の中間報告

●議長 先ず経緯を話したい。カトレア通り(都計道127号)の整備により大きな影響を受ける西側沿道の人たちと道路について議論してきたが、自由が丘に関わる全ての人にだんだん広げてきた。その議論の結果を反映して地元から区に提言を出すことにしていたが、自1-29の再開発組合の考える127の東側の緑化計画と差異があり調整が必要であったので、提言提出の時期を遅らせている。まだ決定には至っていないが最終段階に入ったので、それについてお話したい。

資料の1枚目は1-29の再開発時の図で、2枚目は都市計画道路整備時の図である。現況は幅員6mの道路で両側に約1.3mの路側歩行帯がある。

(以下、資料に沿って説明があった。その要点を列記する。)

- ① 官民境界から東側2.6mは歩行者通路になり、その奥に1.4mのにぎわい環境空間ができる。
- ② 再開発時には、路側帯と歩行者通路の段差をなくし、歩きやすいようにする。
- ③ この歩行者通路の中にビル風を低減する機能をもつ樹木を10本植栽する。
- ④ 再開発組合はシミュレーションして樹木の高さを6mとしているが、その上部が2階の下に接する可能性がある。樹高4.0～4.5mを2本ずつ配置して防風機能が期待できるか検討したい。
- ⑤ ツリーサークル(1.2m角)は歩きやすさと樹木保護、雨水浸透を両立させ、グレーチングのものは避けたい。

⑥ 都市計画道路整備時には、緑豊かな街路樹のある道路にする。樹種は蜜源となるユリノキも候補である。街角、ゲートにはシンボル樹も検討する。

⑦ 1-29 再開発側の歩道には街路樹を千鳥状に配置することで、有効な歩行空間幅を確保する。

⑧ 歩行者天国、イベント時に道路全体を広場として使うことができるように段差を極力なくし、歩車境界も植栽、プランター、車止めで対応する。

●議長 ご質問ご意見を受けます。

●1-29 の再開発が終了した後の歩行者の通行量に関して、カトリア通り東側の歩行者空間と建物中の貫通通路を利用する人数は、条件をいくつか設定してシミュレーションすることは可能か。

●係長 シミュレーションは難しいと思う。

●カトリア通りの整備完了は何年後になるか。

●係長 カトリア通り西側の再開発の進み具合によるが、目標としては令和 11 年ごろと思われる。令和 15 年まではかからないのではないかと考えている。

●議長 重要な話である。

●幅 2.6m の歩行者通路の端に樹木があるが、バギーあるいは車椅子とその横に人が 2 人ゆっくり通る広さはあるか。

●議長 歩行者通路の奥に 1.4m のにぎわい環境空間があり、そこにはテーブルや椅子、プランターなど置かれるが、歩行者は空間的なゆとりは感じられると思う。歩道や敷地内の樹木や花などを一体的に管理できるとよいと思うが、ジェイ・スピリットに担ってほしい。カトリア通りの緑化整備に関してはもう少し検討したい。

●関連して歩道のあり方について発言したい。

●議長 次第のその他でもらう予定だったが、順序を変えてプレゼンしてもらいます。

●スライドを用意したので、見ながら説明したい。(以下に要点を記す。)

① 道路構造令が昭和 43 年にできた。車優先時代の基準といってよい。歩道にマンホール、電柱、街路樹、街路灯などを設置するようになっていて、歩行者には歩きにくい。

② 歩道は車道より高くしている。そのため横断歩道付近で傾斜ができる。また、道路に沿って車の出入口があると、横断歩道に傾斜をつけるので、歩行者も車椅子も通行しにくくなっている。

③ 自転車通行帯がないと、歩道を自転車が通ることが可能で、歩行者にとっては危ない。

④ ドイツの一部では車道と歩道の間に傾斜地があり、そこに樹木やマンホールを設置してある。

⑤ イギリスの一部では歩道は車道より高いが、横断歩道は歩道と同じ高さなので、車にはハンプになっている。

以上のことなどを参考にして、カトリア通りの整備は歩行者が歩きやすいように検討してほしい。

●議長 貴重な情報提供ありがとうございました。

●銀座の大通りの歩道にはマンホールがないが、どのように処理しているのか。

●マンホールや車の出入口は、まちの取り決めによって建物の裏側の道を利用している。

●係長 お話のとおり日本では歩道上にいろいろなものをまとめて設置されている。

●交差点のハンプは良いアイデアだ。自転車による事故も防げると思う。道路に面して車の出入りがある場合に、車道の端がせり上がって歩道に接しているのを外国で見た。

●ハンプは交通安全対策として有効だと思う。ハンプでの車の衝撃音を抑えるためにハンプに傾斜をつけているものがある。

●ハンプの有効性はどのように判定するのか。アンケート調査をするのか。

●アンケート調査もあるが、自動車のスピードが抑えられるという調査結果からも判定できる。今は道路構造令のうち、都道府県道は条例で対応できるように変わっているので、目黒区も車優先でない道路を作ることができると思う。

●カトリア通りは区道であるが、区は今のところこうした対応をどのように考えているのか。

●区は卯月先生やカトリア通り沿道の方々と協議している。

●議長 広場に接する銀行横の交差点は車も人も通行量が多いし危険性も高いので、ハンプにするかイメージハンプにするかについても検討していきたい。いろいろなご意見ありがとうございました。

## 2. 自由が丘周辺の歩行者・自転車の交通事故ゼロに向けての対策

●ジェイ・スピリットに所属するまち構造研究会の一員としてまちの重要な課題を投げかけたい。自転車や歩行者の交通事故が自由が丘周辺で発生している。道路や歩行者空間がある程度整備される前の時点でも、事故を防ぐためにどうしたらよいかを皆さんで考えよう、地元の諸団体でも検討してもらって、まちとして具体的な対応ができればよいと思い、そのとっかかりになればとお話する。現状では、自転車利用者の赤信号無視や交差点や横断歩道での一時不停止等と、歩行者が多い通りでもスピードを出して走行するケースをしばしば見かける。

(警視庁作成の自由が丘周辺の歩行者・自転車・業務用自動車等の負傷事故発生地点の図とそれらを利用した原因の付記、目黒区による発生状況の表、自転車の交通ルールなどの説明があった。)

以下に自転車による事故を防ぐための自由が丘としての対応案を4つ挙げるが、それをどのように周知して実現するか、その後の継続的な取組をどのようにするかは今後の課題になる。

- ① 自転車は軽車両である。交通ルールをきちんと守って、歩行者や他の車両に十分に配慮する。
- ② 歩行者天国時の区域内では、自転車のスピードを極力抑える。特に人通りが多い時には押しチャリにする。区域内で楽しむ人のためには、区域内の適当な道路上に仮設の駐輪場を設ける。
- ③ 駅前広場の歩道では誰もが常時押しチャリにする。自転車の交通ルールに、普通自転車(電動アシスト自転車の大部分を含む)が歩道を通行することができる場合として次の項目があるが、その場合も押しチャリにする。「13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているとき。」

④ 車両の通行が多くて歩道のない道路では、歩行者はその両端の路側帯を歩いて広がらない。

自由が丘駅周辺は放置自転車禁止区域に指定されているので、放置自転車の台数は抑制されている。しかし、各自自転車の駐輪時間は短いかも知れないが路上駐輪があちこちに見られる。これは荷捌き車の路上駐車とともに歩行環境を悪化させている。まち構造研究会では駐輪場に関する提言もしたいと話している。今日は情報提供として林さんからスライドを使って話してもらいます。

●まち構造研究会の一つのテーマとして「自由が丘スタイルの自転車利用の提言」がある。将来的には道路も整備され駐輪場もできると思われるが、それまでの間でどのような課題がありそれにどう対応するかを話し合っている。皆さんのご意見も聞いて対応したい。(以下に要点を記す。)

① 駐輪場に関しては都の調査によると収容台数は足りている。調査時間帯が11時であるので、実態との差もあると考えられる。昼ごろでも路上駐輪が見られる。放置自転車禁止区域を外れた場所でも多くの路上駐輪がある。

② 自由が丘が自転車でも利用しやすいまちであるためには、あちこちにちょっとした駐輪場があることが求められる。区のルールでは、ある敷地面積以上の店舗・ビルでは駐輪場を作ることになっているが、それを屋上などに作って、実際には使われていないことが多い。

③ 街並み形成委員会では、お店の前にスペースを作るとか街角に公開空地を作り歩行者が休める場所を設けることを勧めてきたが、そこに自転車を置かれてお店も迷惑しているケースもでてくる。自転車利用者のマナーと店側の対応が必要になってくるが、個々での対応には限界があるのではないかと考えている。

④ 押しチャリルールに関しては、かつて駅前広場が改修されたときに導入されたが、長続きしなかった。今後取組むときに、対応を工夫する必要がある。

⑤ 歩行者天国時の配送車両や普通自転車のスピード抑制、区域内の通行車両の台数を減らすために、区域内の路上に仮設の駐輪場を設置することも検討したい。取組の例はある。

⑥ シェアサイクルについても検討したい。電動であることでスピードが出やすい、目黒区と世田谷区で自転車の互換性がない、利用者の多くが自由が丘の交通状況やルールができててもそれを知らないなども検討の対象になるだろう。

●議長 いろいろな情報提供ありがとうございました。自転車への対応も優先順位が高いと思う。

●自転車の事故を防ぐにはどうしたらよいかということについて聞いていた。駐輪場云々となると広くなるので、事故防止に絞って議論したらと思う。

●まち構造研では事故防止のために駐輪場を含めて自転車問題を研究するが、まずは事故をなくすための方策について話すのが大事だと思う。振興組合は自転車の対応について何か考えているか。

●理事長 今は特に取組んでいない。数年前から警察は自転車利用者のマナーの励行について、いろいろな機会に区民に伝えている。自由が丘では自転車利用者が多いので、個々に対応するのが難しいと感じている。警察はマナーの悪い利用者にイエローカードを出して注意を促している。まちが警察と一緒にやって対応していくのがよいと思う。商店街の立場からは自転車で来てくれる人もお客さんなので排除はできない。ルールに則って自転車利用していただくことを考えていきたい。

●子どもから「お母さん、交通ルール守っていない」と言われると弱い。警察が小学生の子どもに自転車の交通ルールを守ることの必要であることを働きかけてくれると、それが子どもから親に伝わって効果が出ると思われる。特におじいさん、おばあさんは孫の意見に弱いから効果が高くなると思われる。

●地域の緑ヶ丘小学校や宮前小学校で、年に1回自転車の交通安全教室を開催している。子どもには効果があり、よい取組だと思っているが、親への影響は不明である。

●自由が丘で自転車事故が課題になっていることを知らない人、自分がルール違反しても「まあいいや」と軽く考える人が多いと思う。自由が丘のイベントで、押しチャリや具体的にルールを守ってくださいと働きかけることで、自由が丘では自転車の交通ルールを守ることが求められていることを皆さんに知ってもらい、ルールを実行してもらおうようにしたらよい。

●自転車の交通事故をなくすという観点で、地域内の保育園、こども園、小・中学校の子どもや保護者、町会・自治会・住区住民会議の住民の皆さんに投げかけて、要望や意見を聞いてみたいと思っている。

●自由が丘町会です。役員会で話し合っていないが、個人的には自転車に関する問題をいろいろ聞いている。ママチャリ・電動アシスト自転車がルール違反していて危ない、歩く場所を塞いで自転車が止められているとかが多いが、それへの対処の動きはしていない。今日は交通安全週間の初日で警察からお話があったが、「マナーの悪い人に何度も、細かく働きかける」と聞いてきた。

●私の関係する町会や住区住民会議では交通安全週間中にあちこちに垂れ幕を掲げて、皆さんに注意を促している。私は保育園に子どもを送迎する親の交通ルール違反を多く見かける。保育園に直接行って、現状を話したらという意見も出ているが、トラブルの元になったらいやだねということ

でそのままになっている。私自身としては、保育園のママさんたちが気を付けてくれると、かなり改善されると思っている。交通ルールがありそれを守ることで自分や他人の安全につながることを対象者を絞って知ってもらうことが大事だ。

- 議長 今回いただいた意見を参考にして、まち構造研究会で研究してほしい。
- 自由が丘では配送業者の自転車の走行や路上停車は問題になっていないのか。
- 歩行者天国時には何らかの対応を考えたらという意見は出ている。自由が丘のような狭い道路で人が多いのにルールが確立してなく、個々のマナーに頼る状態に課題がある。
- しらかば通りで配送業者がたむろしていることがあった。警察が自転車に関する交通安全の講習会を開いて終了したらシールを自転車に貼ってもらうことをしたら自覚を促し有効だと思う。
- 今日の資料で、目黒区では小・中・高校生の負傷事故は少ない。負傷者の多い20代以上の人たちへの取組をどうするかがこれからの課題になると思う。
- 危ない自転車はママチャリだけではない。これからは電動キックボードも問題に上がるだろう。自由が丘なりの対応の仕方を考えていければと思う。
- 昨年、自由が丘公園に駐輪車が多くて、区は撤去した。1年たって少なくなっているが、駐輪していた人が今はどこに止めているかなどについても問題にしたい。
- 議長 これからの駅前広場の整備についても、安全・安心なまちづくりという観点で、押しチャリ対応も含めて社会実験をしたいと考えている。実態調査も必要だ。まち構造研究会も協力してほしい。

### 3. その他

- 理事長 スイーツフェスタを5/3～5日に行う。駅前広場はステージを作らずに平場で催しをする。タクシープールを中心にSDGs関係のブースを設置する。スイーツの23店舗が協力して、デジタルのスタンプラリーを4/29～5/7の期間に実施する。皆さんにも参加をお願いしたい。南口を初め5～6の商店会でそれぞれイベント等を開催する。
- 議長 本日のまち運営会議を終了します。ありがとうございました。次回は5/25の予定です。